

令和2年度

文京地区のごみ減量チャレンジ!! (書面開催)

報告書



文京地区保健衛生委員の皆様へ

ごみ減量のためにどんなことがすれば良いのか、どうすればその方法を地区のみんなにお知らせできるのか、たくさんのアイデアをいただき、ありがとうございました。

本来であれば文京地区保健衛生座談会を開催して、ご出席いただいた皆さんにそれぞれのアイデアを、和やかな雰囲気の中で、自由に発表してもらおう予定でしたが、今回は新型コロナウイルス感染予防対策として、各自ご記入いただき報告書としてまとめる形といたしました。

毎日の生活の中においても皆さん、ごみを少なくするために取り組んでいることがあるかと思えます。

それを改めて言葉にして、まずは保健衛生委員で共有し、さらには文京地区に住む皆さんに広げていくことが重要です。

コロナ禍はまだ続くと思われませんが、そんな中でも、一人ひとりが出来る小さなごみ減量のための取組みを、みんなで取り組むことで、大きな成果を上げられるよう、頑張っていきましょう。

文京地区保健衛生委員会においても、皆さんの意見を参考に、来年度も活動を続けてまいります。

文京地区 ごみ減量のアイデア

☆生ごみ三きり運動を徹底する【使いきり・食べきり・水きり】

【食品を使いきる、食べきる工夫をしよう】

- 野菜・果物は皮に栄養があるので、捨てずにスープやスムージーなど、むいた皮を上手に利用してもう1品。
- 皮付き調理できるものは皮をむかずに調理する。
- 野菜の皮や少しだけ余ったくず野菜・キノコなどは、天日干しにして出汁(だし)をとる。
- 皮をむかなくても食べられる、りんごを横に薄く切る「スターカット」を広める。
- 冷蔵庫の中の食材の賞味期限を確認し、期限の近いものは前に出す。
- 料理は作り過ぎないようにする。余っても捨てずに、翌日食べる。

【生ごみの水きりを徹底しよう】

- 生ごみは水切りをしっかりと行い、さらに乾かしてからごみに出す。
- 水きり袋、水きり器などのアイデア商品を上手に利用して、水きりを行う。

☆ごみを出さない生活を心がけよう

- 出来合いの総菜、弁当、カップラーメン、ペットボトル飲料など、ごみが出るものをなるべく買わない。
- 使い捨て容器は使わない。
- 買い物前にメニューを決めて、必要な物をメモして行くことで、無駄な買い物をしないようにする。スーパー入口の献立紹介はメニューを決める参考になるので活用する。

- 庭の雑草や木の葉は、ごみに出さずに**庭で堆肥化**する。
- 過剰な包装は断り、必ず**マイバッグ・マイバスケット**を持参する。
- 魚は調理したもの(おろしたもの)を**購入**する。

☆**ごみの出し方を工夫しよう (嵩(かさ)を減らす・重さを減らす)**

- 草取りした雑草は、**数日乾かして、土を落としてからごみ**として出す。
- かさばるごみは小さく切って、嵩(かさ)を減らしてからごみに出す。

☆**ごみ減量とともに、リサイクルも推進しよう！**

- 新聞・雑誌・雑紙・段ボール・ペットボトル・アルミ缶・ビンなど
町会の廃品回収(月1回)を利用する。

☆**ごみ減量に関する知識、意識の向上を図ろう！**

- 民間の回収ステーションに出すと、市のごみならず、なおかついつでも出せて、**ポイントももらえるメリット**があるので利用する。
- スマートフォンを持っている人たちに**ごみ収集アプリのダウンロード**を勧めて、個人個人の意識を高める。
- 家庭や学校で、**子どもたちとごみ減量やリサイクルについて話し合う時間を増やす**。ごみ減量を意識した生活が子どもたちにとって当たり前の将来となることが大事。

☆**ごみ減量・リサイクルが進めやすいシステムづくりを要望する**

①**行政に対して**

- ごみ有料化がごみ減量化につながるのでは？

○生ごみや、庭の雑木・草などは、市が燃やせるごみと分けて収集し、堆肥化し、出来上がった堆肥は「Rマークの肥料」として販売するシステムを構築する。経費はかかっても、長い目で見ればプラス面が大きいはず。

○プラスチックごみ(食品トレー)を、燃やせるごみとは分けて収集してはどうか？

②小売り業者に対して

○食材のトレーは、白色トレーのみを使用してほしい。

③町会連に対して

○町会連のごみ袋が大きすぎる。小さいサイズも販売してほしい。

○水きり袋を販売できないか。

○水きり容器を全世帯に配付できないか。

④文京地区保健衛生委員会に対して

○各家庭から、裏が無地の紙やチラシを集めて、買物の時に利用するメモ帳を作って、各家庭に配付してはどうか。

文京地区 アイデアを広める方法

- ポスター・チラシ(破れにくいもの)を作成し、ごみ集積所や協力してもらえる家の扉に掲示する
- 町会だより(広報)で呼びかける
- 回覧板でごみ減量をPRする
- ごみが減った量に応じてポイント制度を作り、地域のスーパーなどで利用できるようにする。
- 町会資源回収の回数を2カ月に1回から1カ月1回に増やす。
- 野菜の皮の乾燥方法を、スーパーの野菜売り場に掲示してもらう。
- ごみ減量チャレンジの資料を地域の皆様にみてもらう。
- 「民間回収を利用している割合 文京地区が第1位☆」を地区のみんなに知ってもらい、さらに意識を高めてもらいたい。
- ごみ集積所に「ごみ減量標語」を貼る。
例：「一つでも減らそうごみの量を！」
- ごみを出さない調理方法や皮つきのメニューのアイデアを共有するために、地区で勉強会や調理実習を実施する。
- 水きり器などのアイデア商品の現物や使用方法を紹介する勉強会を実施する。
- 民間回収と行政回収の違いを理解していない方も多いので、回覧等で周知する。
- 町会役員の、ごみ問題に関する共通の認識をもつために、町会単位での勉強会が必要。
- 大人はもちろん、子どもたちに対してごみに関する意識改革の教育が必要。